
NGワード

戯言遣いの弟子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

NGワード

【コード】

NO959S

【作者名】

戯言遣いの弟子

【あらすじ】

NGワード。

彼女はそれに気付かず、『それ』を口に出してしまった。

博麗霊夢のいつもと違う目覚め。

NGワード。

それは触れてはいけない言葉。

多くの人にとって、トラウマ。

そしてその『言葉』を聞き、『トラウマ』を『想起』してしまった時、何かが起きる。

人によっては、病気に。

人によっては、精神障害に。

人によっては、記憶障害に

チンチン、とどこぞの夜雀が時間外れに鳴き博麗の素敵な巫女、
博麗 霊夢』は眼を覚ました。 』

「……………ん、う……………？」

重度の記憶障害と、共に。

「此処、どこ？」

障子からはガタリ、音がして中から目を見開いた鬼が現れた

博麗霊夢のいつもと違う目覚め。(後書き)

正直字数が……。

障子からはガタリ、音がして中から目を見開いた鬼が現れた
は最初書いた時は無かったです。

何となく蛇足な気もするしそうでない気もするし……。

初日/07:00:00(前書き)

初日午前七時零分零秒。

SIRENを意識しています。

初日 / 07:00:00

紫「さて……」

と紫は周りを見渡した。

今博麗神社には

被害者？) 博麗 霊夢

霧雨 魔理沙

レミリア スカーレット

アリス マーガトロイド

西行寺 幽々子

付き人) 魂魄 妖夢

八雲 紫

式) 八雲 藍

式の式) 橙

ミスティア ローレライ

藤原 妹紅

伊吹 萃香

射命丸 文

河城 にとり

犬走 椛

サニーミルク

ルナチャイルド

スターサファイア

永江 衣玖

比那名居 天子

多々良 小傘

が居る。

彼女等は昨日宴会をした中の一歩である。

萃香「とりあえず、今朝私が起きた時にはもうあんな状態……」

今霊夢には部屋で寝てもらっている。

萃香「……少なくとも、昨日寝る時までは【萃香、また明日ね】って」

紫「……そう」

魔理沙「でも、だからと言って昨日寝てからとは限らないぜ。第一無理だしな。だって霊夢は寝る時結界を張っているからな」

萃香「うん。でも何で魔理沙が？」

魔理沙「へ！？ あ、いや、な？ あはは……」

紫「（この娘はまた……）とりあえず、その通り寝てからとは考えられないから昨日寝る前でしよう。」

二人とも、そんな魔法有る？」

と紫は魔理沙とアリスに目配せをした。

アリス「私は知らないわよ。この卑しい魔法使いさんは分からないけど」

魔理沙「おいおい何だよ卑しいって。まあ知ってるには知ってるが」
文「そんな魔法有るんですか？」

魔理沙「知ってるだけだが」

へえ、と一つ頷くと文は少し下がった。

サニー「まあとりあえず宴会が終わってからは誰も見てないよ」
スター「とりあえず私も」

ルナ「私は珈琲飲んだからなあ、見てないや」

紫「……まあとりあえず消去法なので断定は出来ませんが【昨日宴

会が終わってからからの可能性は無い】ですね

にとり「ねえ椀」

椀「ん？」

にとり「思ったんだけど、【NGワード】って事は無いかな？」

紫の耳がぴくと動いた。

椀「えーっと、確かトラウマに関する言葉だっけ？」

にとり「そそ。……まーそんな事は無いだろうけど」

紫「詳しく」

にとり「へ？」

紫「もしかしたらドンピシャかもしれません、その発想」

にとり「そ、そう？　じゃあ言うね」

とにとりは照れながら話した。

その内容は先に話したものと同様の物なので割合させてもらう。

7

紫「成程、恐らくそれでしよう」

妹紅「つまり、その『言葉』を探して……、何をすればいいんだろ？」

衣玖「もう一度言う事によって治らないでしょうか？」

天子「とりあえず緋想の剣でボコッ」

ボコッ

天子「むきゆう」

藍「まあでもやってみる価値は……」

橙「でも、それで失敗したらどうなるんでしょう？」

藍「ん……………、多分、もつと……………」

小傘「とりあえずやってみてから考えるのは？」

橙「うわぁ!？」

小傘「(ちよつと成仏しようかな)」

橙「いつから……」

小傘「最初から」

と言うと小傘は舌を出して笑った。

幽々子「とりあえず紫、その天人と傘の言う通り『NGワード』を探して目の前で言ってみましょう」

妖夢「で、でも幽々子様。それで失敗したら……」

ミステリア「その時はその時って奴よ」

幽々子「上に同じ意見よ」

レミリア「ふむ……。とりあえず少ししか情報が無いが纏めてみよう。

【恐らくNGワードによって記憶喪失】これは確定事項として良いかしら。

【宴会が終わってから……昨日の18時から始まって23時位に終わったから23時以降は無視して良い】これも確定事項として良いかしらね。

……少なすぎるわ。……そうだ。萃香、霊夢が覚えてるのはどれ位？」

萃香は「そんなに多くない」と切り出し「まずは自分の名前。後は生活に必要な物だけ」と言った。

レミリア「……そう」

萃香「とりあえず名前は自分だけ。と言うより自分以外のものを忘れたって言うか……」

レミリア「ええ、ニュアンスは伝わってきたわ。……忘れてる事から絞れるかとも思ったのだけれど」

紫「まあ【自分に関係する事と生活に必要な物はNGワードではない】と思えるわ」

レミリア「そうね。新しい発見では

【自分と生活に関係する物はNGワードではない】ちょっと断定
できないのが残念。

こんな所ねえ」

かくして彼女達は【NGワード】を推理する羽目になった。

さて、何が【NGワード】なんだろうか？

貴方達にも手伝ってほしい。

初日 / 07:00:00 (後書き)

今回は一話終了毎に有る程度までの質問を受け付けますが、先着二名様となっております。

出来るだけ早く、正確な質問をしてほしいですが『【NGワード】はなんだ?』や『誰が言った?』等の質問はまったくの無駄になりますのでご注意を。

次回は

二日目 / 13:21:51

となります。

なお、ぶつちやけますと質問が有るうが無かるうが進めますが有った方がより楽しめると思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0959s/>

NGワード

2011年10月6日18時08分発行